

令和 6 年度 高校生の移動実態に関するアンケート調査について（報告）

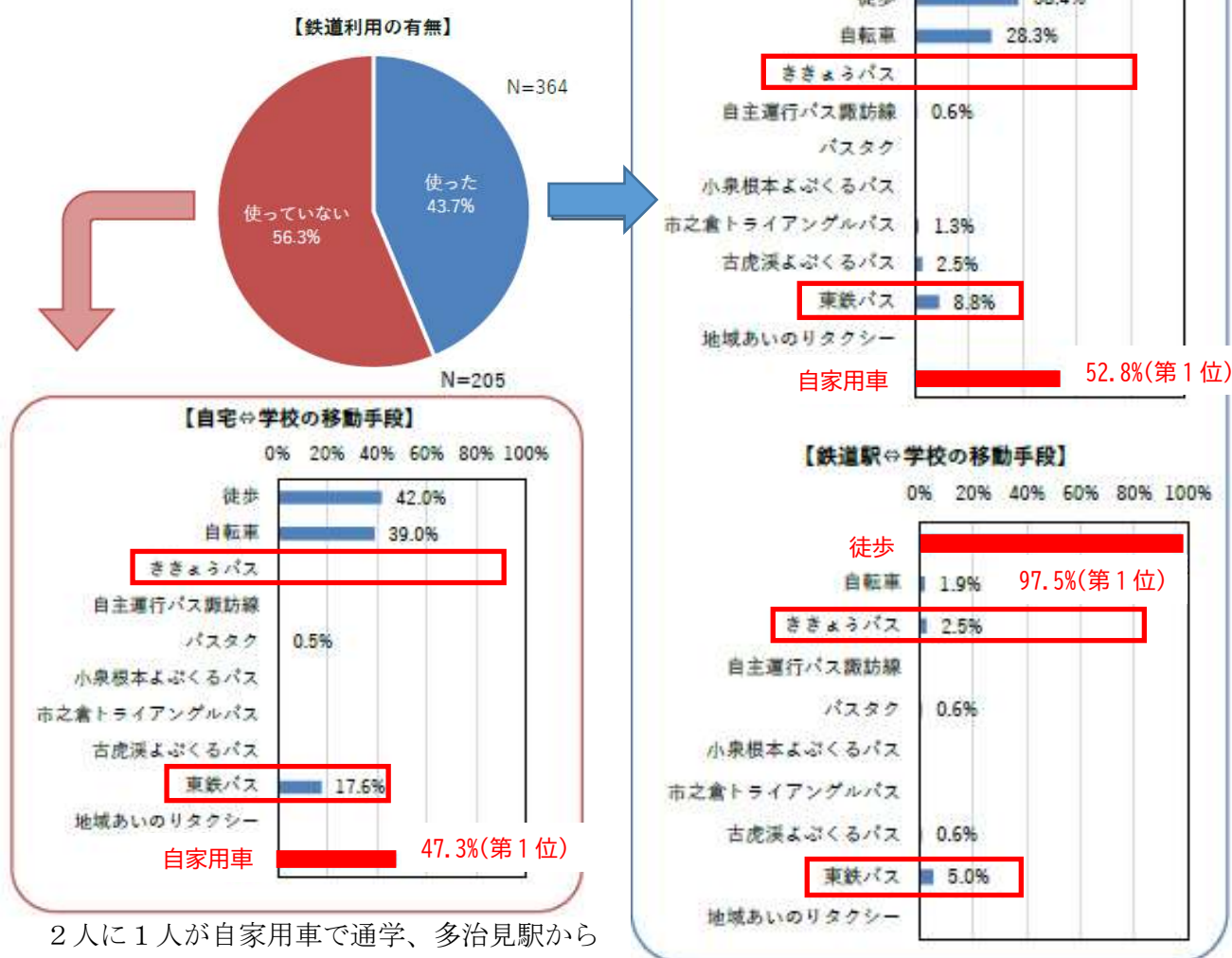
1 調査の概要

- (1) 市内 4 つの高校で高校 2 年生を対象とした WEB アンケートを実施。12/2～12/13
 (2) 回答率 合計 364 件/862 人 (42.2%) (市内 4 校の当時 2 年生の総数)
 多治見北高校：220 件/268 人 (82.1%) 多治見高校：62 件/183 人 (33.9%)
 多治見工業高校：34 件/140 人 (24.3%) 多治見西高校：48 件/271 人 (17.7%)
 (3) 調査項目

居住地域	休日の外出先
通学所要時間	休日の外出先への移動手段
通学時の移動時間帯	公共交通利用で重要視する事項（通学）
通学時の移動手段	公共交通利用で重要視する事項（休日）
自家用車を使った通学頻度	公共交通について知りたいこと

2 調査結果（抜粋）

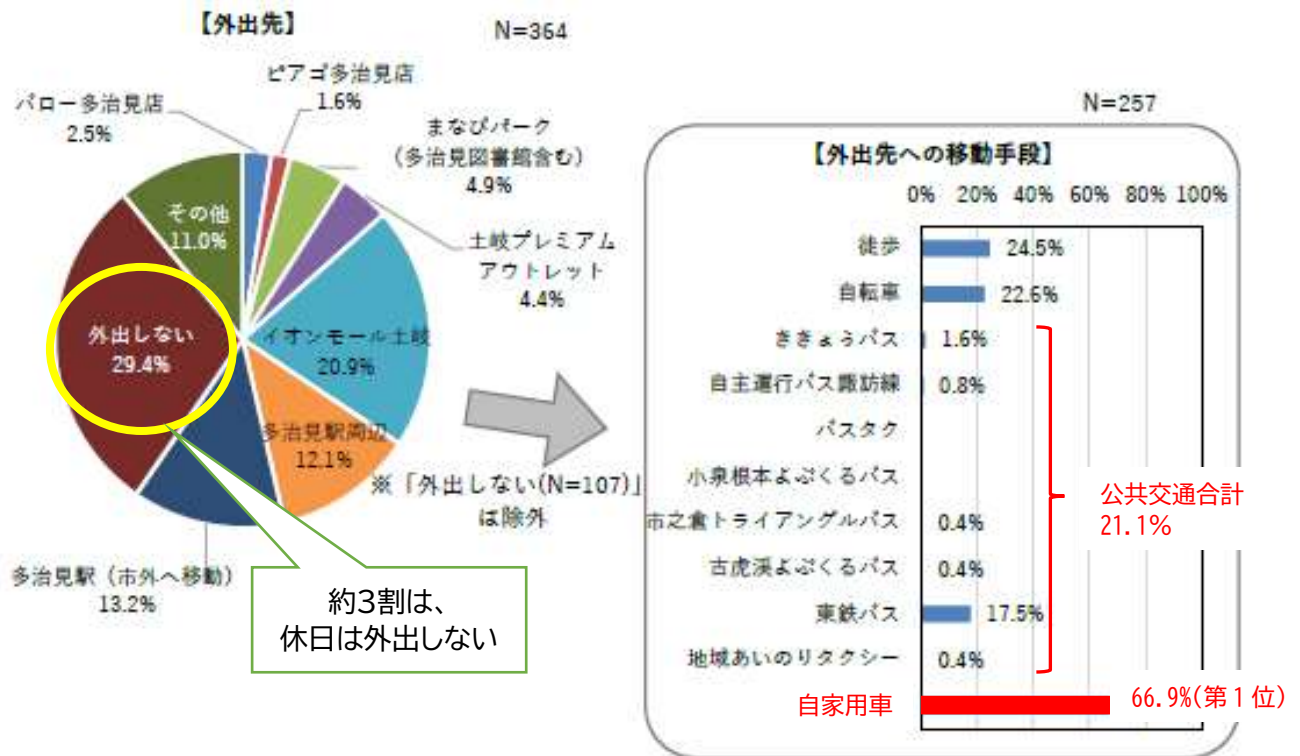
(1) 通学時の移動手段



2 人に 1 人が自家用車で通学、多治見駅から学校はほぼ徒歩

⇒ ききょうバスは 0～2.5%、東鉄バスは 5.0%～17.6% と通学の手段として低い水準

(2) 休日の外出先及び移動手段

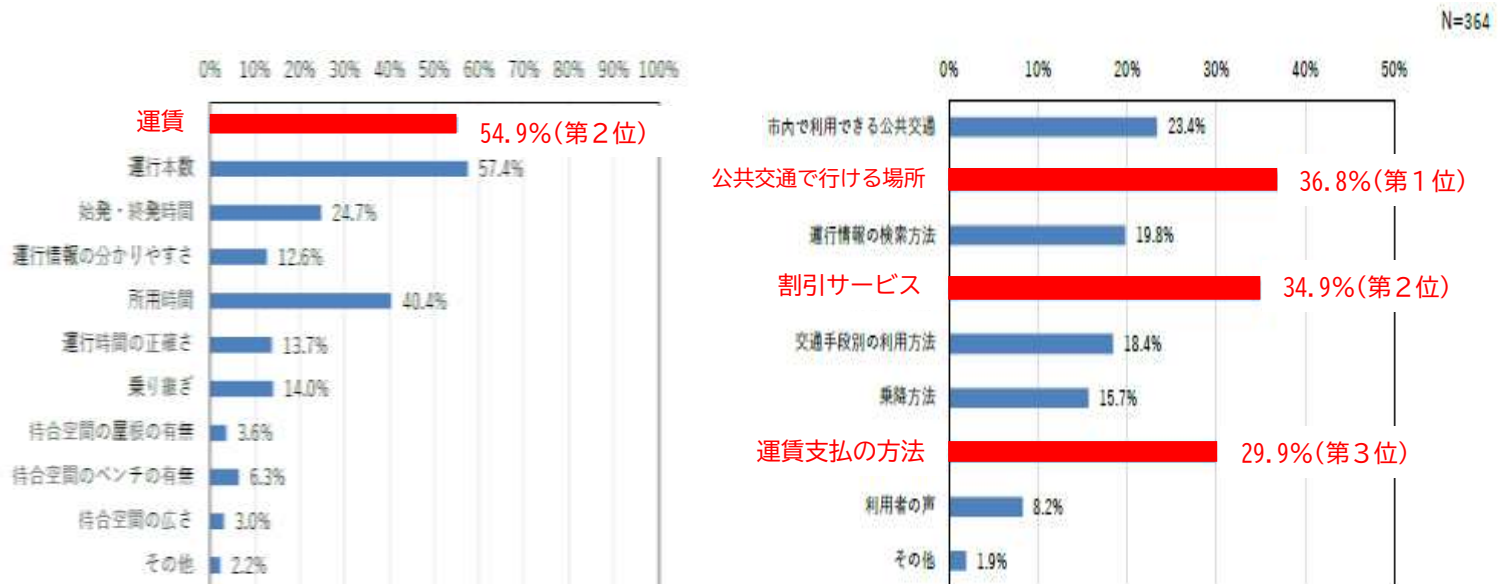


休日に外出しない生徒が3割、出かけても3人に2人が自家用車

⇒ 休日に出かける契機・手段として、公共交通機関を選ぶインセンティブを

(3) 公共交通利用で重要視する事項

(4) 公共交通について知りたいこと



- ① 重要視することは、「運行本数 (57.4%)」「運賃 (54.9%)」が上位
- ② 知りたいことは、第1位「公共交通で行ける場所 (36.8%)」、第2位「割引サービス (34.9%)」、第3位「運賃支払の方法 (29.9%)」

⇒ 学生の運賃割引サービスや現金を使わない決済方法が利用促進のカギ